

作物名           ほうれんそう                           ブロック 村山

<b>名称</b> <small>(品種・地域名等)</small>		<small>やまがたあかね</small> <b>山形赤根ほうれんそう</b>		<b>栽培地域</b>		<b>山形市、天童市</b>	
							
<b>由来及び特性</b>  山形市風間の柴田吉男氏が昭和2～3年頃、栽培した中から葉柄基部や根部の赤味の濃い株を選抜。日本在来種(角種)の秋まき品種。耐寒性があり大株(200～300g/株)となり、甘みが強いのが特徴。							
<b>は種</b>		<small>露地 9月上旬～中旬</small> <small>ハウス 10月上旬～下旬</small>		<b>定植</b>		<b>収穫</b>	
						<small>露地 10月中旬～1月下旬</small> <small>ハウス 11月上旬～3月上旬</small>	
<b>種子・種苗増殖法</b>				<b>県内種苗店</b>			
<b>種子・種苗の入手方法</b>				<b>県内種苗店で購入可能</b>			
<b>利用方法</b>		<b>おひたし等</b>					
<b>生産組織</b>		<b>天童市野菜研究会葉菜部会等</b>					
<b>流通状況</b>		<b>市場、JAてんどう等</b>					
<b>販売形態(購入できる場所等)</b>		<b>直売所、スーパー、小売店等</b>					
<b>現状レベル</b>		<b>A</b>		<b>振興方向</b> 生産拡大と安定生産のための技術支援とPRを継続して実施する。			
<b>振興方向レベル</b>		<b>A</b>					
<b>担当部署</b>		村山総合支庁農業技術普及課 農業技術環境課技術調整担当 農産物販路開拓・輸出推進課				<b>備考</b>	

作物名 たかな ブロック 村山

<b>名称</b> (品種・地域名等) <small>やまがたせいさい</small> <b>山形青菜</b>	<b>栽培地域</b> <b>山形市</b>	
		
<b>由来及び特性</b>  明治41年に奈良県から種子を導入し、農事試験場(現農業総合研究センター)で試作した結果、品質が優れていたことから栽培が始まった。タカナ類の中でも最も生長の早い大型種で葉の大きさは60cm以上にもなる。 独特の辛味と歯ごたえがある。		
<b>は種</b> 8月下旬～9月上旬	<b>定植</b>	<b>収穫</b> 10月下旬～11月下旬
<b>種子・種苗増殖法</b>		県内種苗店
<b>種子・種苗の入手方法</b>		県内種苗店で購入可能
<b>利用方法</b> 漬物		
<b>生産組織</b> ジェイエイエあぐりんやまがた 山形せいさい出荷登録者(東南村山地区)		
<b>流通状況</b> 市場、JAやまがた(Aコープもとさわ等の加工所)等		
<b>販売形態(購入できる場所等)</b> JAやまがた、JAやまがた直売所、スーパー、小売店等		
<b>現状レベル</b> A	<b>振興方向</b> 生産拡大と安定生産のための技術支援とPRを継続して実施していく。	
<b>振興方向レベル</b> A		
<b>担当部署</b> 村山総合支庁農業技術普及課 農業技術環境課技術調整担当 農産物販路開拓・輸出推進課	<b>備考</b>	

作物名            おかひじき                            ブロック 村山

<b>名称</b> <b>(品種・地域名等) おかひじき</b>		<b>栽培地域</b> <b>山形市</b>	
			
<b>由来及び特性</b>  庄内海岸に自生するアカザ科の一年草で、江戸時代初期に最上川を利用して内陸に伝えられ南陽市で栽培されたのが始まりと言われている。シャキシャキした食感が特徴。			
は種            周年	定植	収穫	周年
<b>種子・種苗増殖法</b>		<b>県内種苗店</b>	
<b>種子・種苗の入手方法</b>		<b>県内種苗店で購入可能</b>	
<b>利用方法</b>		<b>おひたし等</b>	
<b>生産組織</b>		<b>JAやまがたおかひじき部会</b>	
<b>流通状況</b>		<b>市場、JAやまがた等</b>	
<b>販売形態(購入できる場所等)</b>		<b>JAやまがた、JAやまがた直売所、スーパー、小売店等</b>	
<b>現状レベル</b> <b>A</b>	<b>振興方向</b> 生産拡大と安定生産のための技術支援とPRを継続して実施していく。		
<b>振興方向レベル</b> <b>A</b>			
<b>担当部署</b>	<b>村山総合支庁農業技術普及課  農業技術環境課技術調整担当  農産物販路開拓・輸出推進課</b>	<b>備考</b>	

作物名 食用ぎく ブロック 村山

<p>名称 (品種・地域名等)</p> <p>もってのほか</p>	<p>栽培地域 県内一円(主に村山地域)</p>		
			
<p>由来及び特性</p> <p>秋ぎくで来歴は明らかでない。花色は淡紫色あるいは紫紅色で地域によってばらつきがある。花弁は管弁、半管弁の八重で中輪。利用方法:和え物、酢の物、おひたし等。</p>			
<p>は種</p>	<p>定植 定植:6月上中旬</p>	<p>収穫 10月中旬~11月中旬</p>	
<p>種子・種苗増殖法</p>		<p>自家増殖</p>	
<p>種子・種苗の入手方法</p>		<p>県内種苗店から購入可能</p>	
<p>利用方法</p>		<p>和え物、酢の物、おひたし等</p>	
<p>生産組織</p>		<p>JAやまがた広域食用菊・おかひじき部会 JAさがえ西村山食用菊部会</p>	
<p>流通状況</p>		<p>市場、JA(やまがた、さがえ西村山)等</p>	
<p>販売形態(購入できる場所等)</p>		<p>JA直売所、スーパー、小売店等</p>	
<p>現状レベル</p>	<p>A</p>	<p>振興方向</p> <p>もってのほか以外の品種も含めて、技術支援とPR対策を継続して実施していく。</p>	
<p>振興方向レベル</p>	<p>A</p>		
<p>担当部署</p>	<p>村山総合支庁農業技術普及課 農業技術環境課技術調整担当 農産物販路開拓・輸出推進課</p>		<p>備考</p>

作物名 えごま ブロック 村山

<b>名称</b> (品種・地域名等) えごま		<b>栽培地域</b> 尾花沢市	
			
<b>由来及び特性</b> 古くから食用または油を採取するために栽培されてきた。 油は乾生油で、昔から盛んに利用されてきた。 別名「白あぶら」			
<b>は種</b> 5月中旬	<b>定植</b> 6月上旬	<b>収穫</b> 10月中旬	
<b>種子・種苗増殖法</b> 自家増殖			
<b>種子・種苗の入手方法</b> (記載なし)			
<b>利用方法</b> 摺って副食に添えたり、えごま油として料理に利用。			
<b>生産組織</b> (株)サクセス・トレード「やくし食品」			
<b>流通状況</b> 直売所、通販			
<b>販売形態(購入できる場所等)</b> (株)サクセス・トレード「やくし食品」(尾花沢市新町3丁目11-16) TEL 0237-53-0385			
<b>栽培及び流通上の課題</b>		<b>対応策・支援等</b>	
<b>現状レベル</b> A	<b>振興方向</b> 産出額向上のため、栽培面積拡大と加工品の販路拡大を支援する。		
<b>振興方向レベル</b> E			
<b>担当部署</b>	村山総合支庁農業技術普及課 農業技術環境課技術調整担当 農産物販路開拓・輸出推進課		<b>備考</b>


作物名 かぼちゃ ブロック 村山

<b>名称</b> <small>(品種・地域名等)</small> <b>蔵王かぼちゃ</b> <small>さおう</small>	<b>栽培地域</b> <b>山形市蔵王地区他</b>	
		
<b>由来及び特性</b>  蔵王成沢の農家が昭和23年旧中川村中山地区(現上市市)の実家から種子を持ち込んだのが始まり。果皮色が灰白青色で、へその部分が約10cm程度で大きい。マサカリやナタを使わないと切れないほど硬く「マサカリかぼちゃ」とも呼ばれてきた。食味がよくホクホク感があり、長期間保存しても風味が落ちないのが特徴。		
<b>は種</b> 5月上旬	<b>定植</b> 6月上旬	<b>収穫</b> 9月上旬
<b>種子・種苗増殖法</b>		業者に委託
<b>種子・種苗の入手方法</b>		登録生産者にのみ種苗配布
<b>利用方法</b> 煮物、揚げ物		
<b>生産組織</b> 山形市蔵王地区の蔵王かぼちゃ生産者他		
<b>流通状況</b> JAやまがた		
<b>販売形態(購入できる場所等)</b> JAやまがた、JAやまがた直売所、小売店等		
<b>現状レベル</b> B	<b>振興方向</b> 品種形質の維持と高品質生産を徹底するとともに、地域内での維持を強化していく。	
<b>振興方向レベル</b> C		
<b>担当部署</b> 村山総合支庁農業技術普及課 農業技術環境課技術調整担当 農産物販路開拓・輸出推進課	<b>備考</b>	



作物名 さといも ブロック 村山

<b>名称</b> (品種・地域名等) <sup>あくど</sup> 悪戸いも	<b>栽培地域</b>	山形市村木沢悪戸地区
		
<b>由来及び特性</b>  来歴は不明。山形市西部地区の須川流域で地下水の高い砂地に栽培。品種は土垂系統。ぬめりとホクホク感がある。		
<b>は種</b>	<b>定植</b> 5月上旬	<b>収穫</b> 10月下旬～12月上旬
<b>種子・種苗増殖法</b>		自家増殖
<b>種子・種苗の入手方法</b>		生産者から購入
<b>利用方法</b> いも煮、煮物		
<b>生産組織</b> あじさい営農組合他		
<b>流通状況</b> あじさい営農組合、個人販売		
<b>販売形態(購入できる場所等)</b> あじさい営農組合、JAやまがた直売所、スーパー、小売店等		
<b>現状レベル</b> B	<b>振興方向</b> 生産振興とともに、知名度向上による利活用推進を図っていく。	
<b>振興方向レベル</b> B		
<b>担当部署</b> 村山総合支庁農業技術普及課 農業技術環境課技術調整担当 農産物販路開拓・輸出推進課	<b>備考</b>	

作物名            せり                                    ブロック 村山

<b>名称</b> <small>(品種・地域名等)</small> ほりこめ <b>堀込せり</b>		<b>栽培地域</b> <b>山形市前明石地区</b>	
			
<b>由来及び特性</b>  野生のせりから選抜したものと考えられ、地下水の高い山形市前明石地区(須川ぞい)を中心に約70年程の歴史がある。シャキシャキした食感がある。			
<b>は種</b>	<b>定植</b> 8月下旬～9月初旬	<b>収穫</b>	10月上旬～3月下旬
<b>種子・種苗増殖法</b> 自家増殖			
<b>種子・種苗の入手方法</b> 県内種苗店で購入可能			
<b>利用方法</b> おひたし、漬物、鍋物の具			
<b>生産組織</b> 個人			
<b>流通状況</b> 市場、JAやまがた等			
<b>販売形態(購入できる場所等)</b> JAやまがた、JAやまがた直売所、スーパー、小売店等			
<b>現状レベル</b> B	<b>振興方向</b> 生産拡大と安定生産のための技術支援とPRを継続して実施していく。		
<b>振興方向レベル</b> B			
<b>担当部署</b>	村山総合支庁農業技術普及課 農業技術環境課技術調整担当 農産物販路開拓・輸出推進課	<b>備考</b>	

作物名 ふき ブロック 村山

名称 (品種・地域名等) <sup>みかわ</sup> 三河ぶき		栽培地域 山辺町三河地区	
			
由来及び特性  山辺町の三河尻地区(須川沿いの肥沃な砂質土)に、昭和初期、山形市飯塚地区から持込まれたという由来がある。食味はシャキシャキ感があり市場評価が高く、近辺のお祭り料理に欠かせない1品となっている。			
は種	定植	収穫	露地:5月上旬~5月中旬 ハウス:4月下旬~5月上旬
種子・種苗増殖法		自家増殖	
種子・種苗の入手方法		生産者から購入	
利用方法	炒め物、鍋物、煮物等		
生産組織	なし		
流通状況			
販売形態(購入できる場所等)			
現状レベル	C	振興方向	
振興方向レベル	D		
担当部署	村山総合支庁農業技術普及課 農業技術環境課技術調整担当 農産物販路開拓・輸出推進課	備考	



作物名            ぎぼうし                            ブロック 村山

<b>名称</b> (品種・地域名等) <small>おぎさ</small> <b>小笹うるい</b>		<b>栽培地域</b> <b>上山市小笹地区</b>	
			
<b>由来及び特性</b>  上山市小笹地区で古くから栽培されてきたうるいで、太くて品質が良い。緑と白の色彩がはっきりしており、ぬめりが強い。			
は種	定植	収穫	1月下旬～5月中旬
種子・種苗増殖法		自家増殖	
種子・種苗の入手方法		生産者から購入	
利用方法	炒め物、鍋物、煮物等		
生産組織	JAやまがた南部営農センターうるい部会		
流通状況	JAやまがた、市場		
販売形態(購入できる場所等)	JAやまがた、JAやまがた直売所、スーパー、小売店等		
現状レベル	B	振興方向	生産拡大と安定生産のための技術支援とPRを継続して実施していく。
振興方向レベル	B		
担当部署	村山総合支庁農業技術普及課 農業技術環境課技術調整担当 農産物販路開拓・輸出推進課		備考



作物名 かぶ ブロック 村山

<b>名称</b> (品種・地域名等) <sup>みなみさわ</sup> 南沢かぶ		<b>栽培地域</b> 尾花沢市	
			
<b>由来及び特性</b>  由来は不明。「南沢」は地区名であるが、尾花沢市全域で栽培されている。根部はだいこんの形状に似ており、色は紫がかった赤色、茎は一部紫がかった緑色をしている。根の内部にも色素が入る。肉質は硬い。			
<b>は種</b> 8月上旬～下旬	<b>定植</b>	<b>収穫</b> 10月下旬～11月中旬	
<b>種子・種苗増殖法</b> 自家採種、購入他			
<b>種子・種苗の入手方法</b> 尾花沢市の種苗店(鈴乃園 0237-22-1400)で入手可能。			
<b>利用方法</b> 漬物			
<b>生産組織</b> なし			
<b>流通状況</b> 農協加工センター、直売所			
<b>販売形態(購入できる場所等)</b> 漬物 尾花沢農産加工(有) 0237-22-2682 漬物、生かぶ(11~12月) 道の駅尾花沢 花笠の里ねまる 0237-24-3535 漬物、生かぶ(11月) 花笠の湯 尾花沢市尾花沢5151-67 徳良湖温泉入り口 営業期間:5月連休~11月末 漬物、生かぶ(11~12月) (有)あべ農園直売所 0237-25-3785 営業期間:6月~12月 <a href="http://homepage3.nifty.com/abenouen">http://homepage3.nifty.com/abenouen</a> ほか尾花沢市内直売所			
<b>現状レベル</b> B	<b>振興方向</b> 直売所等での販売を中心として、消費拡大を図っていく。		
<b>振興方向レベル</b> B			
<b>担当部署</b>	村山総合支庁農業技術普及課 農業技術環境課技術調整担当 農産物販路開拓・輸出推進課	<b>備考</b>	

作物名 そば ブロック 村山

<p>名称 (品種・地域名等) <small>らいごうじざいらい</small> 来迎寺在来そば</p>	<p>栽培地域 大石田町来迎寺</p>	
		
<p>由来及び特性</p> <p>大石田町来迎寺地区に古くから伝わる在来種。現在、大石田町のそば生産組合が中心となり、特性の維持と種子の増殖を行っている。収量性は「最上早生」よりやや低い。そば粉「生」より白く独特の風味がある。</p>		
<p>は種 8月上～中旬</p>	<p>定植</p>	<p>収穫</p>
<p>種子・種苗増殖法 自家採種</p>		
<p>種子・種苗の入手方法 自家採種</p>		
<p>利用方法 そば</p>		
<p>生産組織</p>		
<p>流通状況 JA経由で町内のそば店に出荷、一部自家用、全農出荷</p>		
<p>販売形態(購入できる場所等) そば粉、生そばの購入、そば打ち体験 あつたまりランド深堀(株)大石田町地域振興公社) 0237-35-5353 <a href="http://attamariland-hukabori.co.jp/">http://attamariland-hukabori.co.jp/</a></p>		
<p>現状レベル B</p>	<p>振興方向 安定生産と生産性の向上のため として実施していく。</p>	
<p>振興方向レベル B</p>		
<p>担当部署 村山総合支庁農業技術普及課 農業技術環境課技術調整担当 農産物販路開拓・輸出推進課</p>	<p>備考</p>	

地区他



り原種を隔離栽  
にすると「最上早



10月中旬

技術支援を継続

作物名 さといも ブロック 村山

<p>名称 (品種・地域名等) <small>こひめいも</small> 子姫芋</p>	<p>栽培地域 寒河江市</p>	
		
<p>由来及び特性</p> <p>子姫芋は土垂系のさといもで、約150年の栽培歴史があるとされ、寒河江市南部地区を中心に栽培されてきた。この地区は最上川が常習的に氾濫していた土地であり、これが里芋栽培に適していたことから栽培が始まったとされる。ねっとりとしたなめらかな食感が特徴。食味の良さから近年注目を浴びている。</p>		
<p>は種</p>	<p>定植 5月上旬</p>	<p>収穫 出荷 9月中旬～11月上旬 10月上旬～3月</p>
<p>種子・種苗増殖法 自家増殖</p>		
<p>種子・種苗の入手方法 組合員のみ</p>		
<p>利用方法 芋煮、煮物等</p>		
<p>生産組織 寒河江市子姫芋組合 こひめいも保存会</p>		
<p>流通状況 直売所、個人取引、贈答、業務用</p>		
<p>販売形態(購入できる場所等) アグリランド、JAアグリ、トマト中山店、地元スーパー等</p>		
<p>現状レベル B</p>	<p>振興方向 かん水可能な水田転作を中心に地域(寒河江市)内で栽培面積を拡大していく。</p>	
<p>振興方向レベル C</p>		
<p>担当部署 村山総合支庁農業技術普及課 農業技術環境課技術調整担当 農産物販路開拓・輸出推進課</p>	<p>備考</p>	

作物名 かぶ ブロック 村山

名称 (品種・地域名等) <small>ごぼうの</small> 牛房野かぶ		栽培地域 尾花沢市	
			
由来及び特性  尾花沢市牛房野地区で、古くから山を焼いて栽培した長かぶである。地上部・地下部、ともに赤紫色になる。根の内部にも色素が入る。葉色は生育初期より淡紫赤色を帯びる。南沢かぶより繊維質で肉質は固い。辛みがある。			
は種	8月上旬～下旬	定植	収穫 10月下旬 ～11月中旬
種子・種苗増殖法		自家採種、購入他	
種子・種苗の入手方法		尾花沢市の種苗店(鈴乃園 0237-22-1400)で入手可能。	
利用方法	漬物		
生産組織	なし		
流通状況	直売所(生かぶ)、相対受注生産、自家消費(漬物)		
販売形態(購入できる場所等)			
現状レベル	C	振興方向	
振興方向レベル	D		
担当部署	村山総合支庁農業技術普及課 農業技術環境課技術調整担当 農産物販路開拓・輸出推進課		備考

作物名 かぶ ブロック 村山

名称 (品種・地域名等) <small>じねこ</small> 次年年子かぶ	栽培地域 大石田町次年年子地区	
		
由来及び特性  大石田町次年年子で栽培される真紅の長かぶ。昔は山の斜面を焼いて無肥料で栽培されていたが、現在は普通畑で栽培。根部は大根の形状で、根部表面は全体が濃紅色、内部にも色素が入る。肉質は繊維質で硬い。辛みがある。		
は種 8月上旬～中旬	定植	収穫 10月下旬～11月中旬
種子・種苗増殖法 自家採種、購入他		
種子・種苗の入手方法		
利用方法 漬物		
生産組織 なし		
流通状況 直売所(生かぶ)、自家消費(漬物)、町内の漬物店での販売(漬物)		
販売形態(購入できる場所等) 生かぶ(11～12月) 次年年子ふるさと直売所(次年年子産業協同組合 0237-35-4150)		
現状レベル C	振興方向	
振興方向レベル D		
担当部署 村山総合支庁農業技術普及課 農業技術環境課技術調整担当 農産物販路開拓・輸出推進課	備考	

作物名 かぼちゃ ブロック 村山

名称 (品種・地域名等) <sup>じねこ</sup> 次年年子かぼちゃ	栽培地域 大石田町次年年子:
	

由来及び特性

大石田町次年年子で栽培されるかぼちゃ。果実は本来大果となり。果溝は目立たず、つるりと暗灰色で光沢があり、ひじょうに固く、冬至まで保存が可能。蔓が土手に這うように、ほ場周辺に植える。

は種	定植 5月下旬	収穫
種子・種苗増殖法	自家採種	
種子・種苗の入手方法	自家採種、地区内の生産者で融通	
利用方法	煮物や揚げ物。通常のかぼちゃと同様	
生産組織	なし	
流通状況	ほとんど自家消費(地元のそば店等での提供)、一部が直売所で販売される	
販売形態(購入できる場所等)	次年年子ふるさと直売所(次年年子産業協同組合 0237-35-4150)	
現状レベル C	振興方向	
振興方向レベル D		
担当部署	村山総合支庁農業技術普及課 農業技術環境課技術調整担当 農産物販路開拓・輸出推進課	備考 イノシシ被害が甚も見え始めている

地区



している。果皮は

9月下旬～10月中旬

る。

大。サルの被害  
り。